

「強い設計」を実現する改革ロードマップ

設計標準化・設計高度化実践講座

—設計改革失敗の分析、設計標準化・設計高度化の実践、設計と原価管理・原価見積の関係を解説—

- 日 時● 2016年 11月 1日(火) 10:30~16:30
- 会 場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』 TEL:03-5215-3512
- 講 師● 株式会社プリベクト 代表取締役 北山 一真 氏

◆開催にあたって

設計が製品コストに与える影響は非常に大きく、担当者は設計標準化・設計高度化と原価管理について取り組まねばなりません。しかし現場では、取り組みへの認識やアプローチが混乱することがあり、改革が失敗することも少なくありません。担当者は、取り組みを成功に導くために適切なアプローチを行う必要があります。

そこで本講座ではまず、設計改革を阻む原因について解説いたします。そして設計標準化と設計高度化の理解を深め、設計標準化と設計高度化を現場で実践する手法について解説します。そして最後に、設計における原価管理・原価見積の解説により、「設計によるもうけの仕組み」を理解します。

《詳細は裏面をご覧ください》

◆ご参加していただきたい方

自社の設計改革や、設計標準化・高度化推進について課題を抱えている方

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

* 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます。

●受講料● 1名(税・昼食・資料代含む)

正会員	43,200円 本体価格 40,000円
一般	47,520円 本体価格 44,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●よくあるご質問(FAQ)については当会ホームページでご確認いただけます。

[TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問]

●お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当: 福田 E-mail: fukuda@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

161520-1006(※)		2016.11.1	
申込書「強い設計」を実現する改革ロードマップ設計標準化・設計高度化実践講座			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			

* お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

「強い設計」を実現する改革ロードマップ 設計標準化・設計高度化実践講座

講師：株式会社プリベクト 代表取締役 北山 一真 氏

【経歴】IT系コンサルティング会社、製造業系コンサルティング会社ディレクターを経て、2010年にプリベクトを設立。競争力ある製品/もうかる製品の実現のため、設計と原価の融合をコンセプトにした企業変革に取り組む。業務改革の企画/実行、IT導入まで一貫して企業変革の実現を支援。設計高度化、設計ナレッジマネジメント、製品開発マネジメント、原価企画、原価見積、開発購買、ライフサイクルコストリング、意思決定管理会計、BOM、3D-CAD、PLMなどのコンサルティングを手がける。

【著書・執筆】『赤字製品をやめたら、もっと赤字が増えた！-儲かる製品を実現するコストマネジメント-』（日刊工業新聞社）、『プロフィタブル・デザイン iPhoneがもうかる本当の理由』（日経BP社）

●プログラム●

10:30

I. なぜ設計改革が進まないのか

1. なぜ設計改革が失敗するのか
 - a. 設計改革の間違ったアプローチ
 - b. 設計改革が成功しない真の原因
2. 設計改革の正しいアプローチとは
 - a. 設計改革の3つのコンセプトとロードマップ
 - b. 成功する「標準化」のあり方とは
 - c. 設計改革の目指す情報システム

II. 設計標準化・設計高度化とは

1. 仕様管理の重要性
 - a. 仕様管理表の整備
 - b. 「グローバルニーズを知る」の本当の意味
2. 設計標準化と技術の可視化・技術伝承の実践方法
 - a. 流用設計の弊害
 - b. 技術の可視化方法とそれに基づいた標準設計のあり方
 - c. 設計ナレッジを用いた設計高度化のあり方
 - d. 設計自動化とナレッジプラットフォーム
 - e. 開発BOM・設計BOM・製造BOMの違い
 - f. 設計力の定量化

III. 設計における原価管理・原価見積とは

1. 設計における原価管理・原価見積はなぜ難しいのか
2. 見積原価・標準原価・実際原価のあり方とは
3. コストテーブルにより見積力を高める
4. 技術者が知るべき製造業のもうけの本質

16:30

※講師とご同業の方は受講をお受けしかねる場合がございます。予めご了承ください。